



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
「会員卓話」 清水 陸 会員 会員誕生日 2月10日 松村 孝二
- 次週予定
「来賓卓話」 7-11ジャパン 岩見沢地区 デイストリクトマネージャー 沼田 雅樹様 配偶者誕生日 2月13日 高田美保子 2月13日 福士 泰雄

No. 2452

第29回 2月9日

出席報告

前例会

会員総数……………44名
出免会員……………8名
出免出席……………4名
出席会員……………27名
出席率……………75.00%

前々例会

第26回 1月19日

欠席会員……………13名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………67.50%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📎 会長報告 ……………

- 先にクラブ細則に則って、入会についての会員選挙を行いました。阿部洋一さんの会員選挙の結果、異議の申し立てはありませんでした。
これにより、阿部洋一さんの入会は決定いたしました。つきましては入会式を2月16日の第30回例会にて行います。
- 田中公一会員と西谷英樹会員が2月8日より14日まで、WCSの検証ツアーに参加のためタイ国に行きます。寒冷の北海道から熱帯のタイですので、体調に充分注意をして、つつがなく旅をされますことを心よりお祈りいたします。
- 現在、アメリカ・サンディエゴで国際協議会に参加をしている次年度の2510地区ガバ

ナーとなります熊澤隆樹ガバナー・エレクトより手紙を頂きました。

そして次年度(2011～12年度)の国際ロータリーのテーマが「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」と決定したとのことです。

- 留萌商工会議所青年部より、1月28日に開催されました青年部新年会に出席いただいた事へのお礼状を頂きました。

📎 幹事報告 ……………

- ロータリー米山奨学会より確定申告用領収書を受領いたしました。該当者の方へ配布いたします。
- 深川、妹背牛、砂川RCより1月分会報と2月プログラムを受領いたしました。

- ・「国際ロータリーとロータリー財団の2009～2010年次報告書」を受領いたしましたので回覧いたします。
- ・「ロータリーの友」2月号を受領いたしました。45万部発行「抜粋のつづり」その七十を受領いたしました。

🎵 愛好会

歌・カラオケ愛好会 高田会員

26日の第一回目の愛好会には、ご婦人も含めて17の方が参加していただきました。当日はストレッチ、発声練習をした後、食事をしてから歌を楽しみました。

親睦活動委員会から23日に開かれる夜間例会の余興の委託もいただきましたので、それまでに練習を重ね皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

つきましては、10日と17日に愛好会を開催いたしますのでご参加ください。詳細はFAXでご案内いたします。

🎮 ニコニコBOX

- ・先日の麻雀大会で皆様にお約束した優勝を大嶋君に持っていかれました 力不足おわびします 二ノ宮会長
- ・準優勝しました 森(俊)会員
- ・マージャンで優勝しました 大嶋会員
- ・二ノ宮会長と森幹事の参加で3卓12名で新年麻雀大会が出来ました 本当にありがとうございました 齋藤(清)会員
- ・母の一周忌が滞りなく終わりました 1年とは早いものです 高橋会員

前 回	574,000円
今 回	13,000円
累 計	<u>587,000円</u>

📄 プログラム

留萌市副市長 中西 俊司様

- ・就任しての感想
常に意識していることは職員のスキルアップ。

- ・地域おこし協力隊
2月1日より2名採用(旭川・北見から転



入)概ね2年。一人は礼受地区を中心とした廃校活用と地域住民の課題解決(本人の希望は漁業)。もう一人は特産品開発と情報発信に力を入れる。イベントの手伝いも兼ねる。

- ・昨年度の決算状況

皆様もご存じのとおり平成19年に財政健全化法が施行されたことにより、今までの再建団体のとらえ方が変わりました。今までは単独会計での赤字額でしたが、留萌市は一般会計のほか8つの会計があり、この全会計を連結した形でまちの財政状況を判断する仕組みとなったところ です。

1ページをご覧ください。国は自治体の財政状況を判断し、3つに分類することとしており、1つは財政再生団体、2つ目は早期健全化団体、3つ目に健全団体であります。19年度の決算を比率に置き換えたところ36.61%となり、財政再生基準の30%を超える状況となったため留萌市では「財政再生団体への転落回避」と「地域医療の確保」を目標として、平成21年度から27年度までの7年間を計画期間とする財政健全化計画を策定し、市民の皆様のご協力を頂きながら、現在財政の再建に努めているところであります

次のページは9つの会計の19～21年度の決算状況であります。19年度では国保が約3億7千万円、下水道で約3億6千万円、病院会計で27億4千万円の赤字で、全会計の収支合計が28億9千万円の赤字でありました。

20年度では、国保、下水道の赤字が若干解消されたことと、健全化計画で決めていた病院事業に対しての支援のうち、その一部を前倒して

支援したこともあり、病院事業の赤字額が大幅に改善され、全会計を連結した赤字額も7億4千万円で、比率も9.15%となり、前年度に比べ大幅に改善されました。後でどうしてこんなに減ったのかについて説明します。

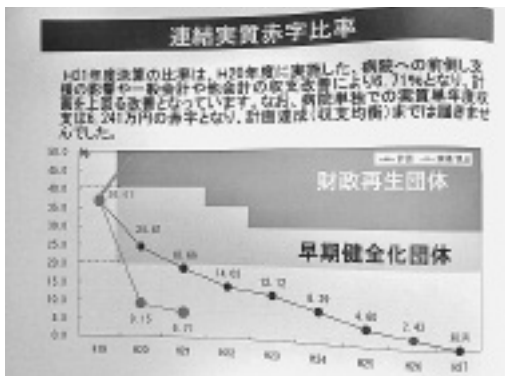
21年度では、それぞれの会計で収支が改善されており、全会計で対前年1億8千万円以上の改善額で比率も6.71%、2年続けて健全な団体ということになります。これも、健全計画に基づき歳出管理をしている結果であります。

次に、連結実質赤字比率と実質公債比率について健全化計画と実態をグラフで表しているのて説明します。

オレンジの範囲が財政再生団体、黄色の範囲が早期健全化団体、これより下のラインであれば健全化団体となります。

今回示している青い線が財政健全化計画上の数値となり、赤いラインが決算を示しております。

先ほどの説明と重複しますが、19年度では国の紀ジョンを超えた状態ですが、病院に対する前倒し支援などにより計画を上回る改善となっております。



もう一つの比率ですが、実質公債費比率、いわゆる借金返済額の比率となります。これもオレンジの範囲が財政再生団体、黄色の範囲が早期健全化団体、それより下が健全化団体ということです。健全化計画のラインが青で赤が決算を示しております。

計画においても平成21年度から上昇し、平成23年と24年に償還のピークを迎えギリギリのラインで通過する予定でしたが、平成21年度の国

の指導で病院に対する公立病院特例債の繰り出し基準の変更があり計画以上に比率が悪化しています。比率を抑える対策としては、新たな借金を増やさないと、終始状況を見極めながら借金の繰り上げ償還をすることで、比率の上昇を抑制していこうと考えております。



次に市立病院の赤字をどのように解消したかということですが、平成19年度決算において不良債権（いわゆる累積赤字）が27億4千万円ありましたが、病院が策定した経営改革プランに基づき国から公立病院特例債として18億2千万円、市が前倒し支援として6億6千万円を繰り出すことにより24億8千万円の支援ができ、そのうち単年度赤字5億5千万円を差し引いた額、19億3千万円が20年度における支援額となります。

21年度においても、独自赤字額の削減と市の支援により平成21年度における不良債務を6億5千万円としたところです。

この不良債務の解消につきましては、22年度・23年度それぞれ2億2千万円の市からの支援と独自に経営の黒字化を図り解消することとなっております。22年度の病院の経営状況は、循環器の医師の確保、脳外科の医師の確保により経営の安定化が図られ、現在の状況では5千万円の黒字を見込むことができるようです。

参考までに、市税と交付税の状況について資料を添付しております。

• 新年度重点施策

平成23年度 市制執行の4本柱について
《市制執行における重点的取り組み》

◎「経済の活性化について」

【地域経済の活性化と雇用の確保について】

* 国や道の施策を積極的に活用した、地域経済の活性化と雇用の確保

【農水産物や加工食品の付加価値化について】

* 食の資源（農水産物や水産加工品）に対し、技術の向上・安心安全の取組み支援や、農商工連携など取組みによる付加価値の向上

【中心市街地の活性化について】

* 留萌プラザを引き続き市民が集い楽しむ場として運営し、商店街の取組みと連携を図り、賑わいあふれる商店街づくり

◎「健康で笑顔あふれるまちづくり」

【市民の健康づくりの推進について】

* 市民誰もが健康でいきいきとして社会生活が送れる医療、介護、福祉の充実

【健康産業の創出に向けて】

* 市民の生命と健康を守るため、良質で適正な医療の提供
* 救急、小児、周産期の地域に必要な医療の確保

◎「子どもたちの夢と可能性が育つまちづくり」

【子育て支援について】

* 健やかに子どもと親が育つまちづくりを目指すため、子どもや子育て家庭への支援

【豊かな心を育む教育について】

* 地域、家庭との連携のなかで、子どもたちの「思いやりの心」「確かな学力」を育つまちづくり

【子どもたちの健やかな体を育てる取組について】

* 遊びを通して身体能力を高めながら、親子の愛情と信頼の絆を育むまちづくり

◎「安心安全なまちづくり」

【地域力を高める取組について】

* 地域コミュニティ団体と、地域環境美化や福祉、防災、交通安全、除雪などのあらゆる分野にわたって協働の取組みを進め、地域力を高め、助け合い、生き生きとした市民が主役のまちづくり

【都市機能の充実について】

* 道路整備や橋梁の補修改善、老朽化した市営住宅の改良事業などの社会基盤の整備
* 次期道路整備5カ年計画、公営住宅・橋梁・公園の長寿命化計画の策定

【防災体制の構築について】

* 「協働」による町内会組織と連携した体制づくり

例会プログラム【2月】

2月9日(水) 「会員卓話」 清水 陸 会員

2月16日(水) 来賓卓話「いま、7-11が取り組んでいること」

7-11ジャパン 岩見沢地区 ディストリクトマネージャー 沼田 雅樹様